

八王子

サークル

かわらばん 93

若い力

学校教育の場にも、教員の高齢化と担い手不足が深刻になっています。原因はさまざまに考えられますが、将来を担う子どもたちの成長を助ける若い教師が増えていくことを願っています。

今回は、教育実習中の中村さんが参加してくれました。そして、実習中に実践した授業の一端を紹介してくれました（後述）。今後の活躍に期待しています。

【おもちゃ箱】

「スケルトン・ナンバー」（市橋）：よく目にするパズルです。（「クリスクロス」と呼ばれることもある。）楽しんでください。（資料）

【実践報告】

1. 連立方程式（増淵さん）

計算の練習問題もただ計算するだけではなく、“やってみたくなる”ようなちょっとした工夫があるといい。

連立方程式2問を解く問題で、解となる数を「1問目の x の値、 y の値、2問目の x の値、 y の値」の順に並べる。その数の並びを語呂合わせで読んでみると、生徒たちがよく知っている人の名前になっている。それに気づいたときの生徒たちの様子が想像できます。

2. 式の展開、因数分解（中村さん）

式の展開と因数分解の練習問題と定着を目的とした工夫の紹介です。

① 式の展開：「漢字を分解した一部分」が多数並んでいる表が示されている。展開した式の x^2 の項、 xy の項、 y^2 の項に該当するところに示された「漢字のパーツを組み合わせてできる文字」をつないで言葉を特定させる。

② 因数分解：「因数分解 麻雀風ゲーム」で楽しむ。

因数のカード $(x+2)$ 10枚、 $(x-2)$ 10枚、 $(x+3)$ 10枚、 $(x-3)$ 10枚、 $(x+○)$ 1枚、 $(x-○)$ 1枚、
式のカード (x^2+x-6) など20種類を各1枚

ゲームは“麻雀”と同じように遊ぶ。（資料参照） 実際に参加者で遊んでみました。真剣になりますね。時間の都合で1回だけでしたが、楽しめました。

関連して、因数分解の“面積図”と“たすき掛け”の話もありました。（市橋）

3. 奇数と偶数（高橋さん）

小学5年生での取り組みです。整数を奇数と偶数に分ける、「0は偶数か？」を問う。ビンゴマシンで出る数は奇数か偶数かで遊ぶ。さらに“奇数+奇数=偶数、偶数+偶数=偶数、奇数+偶数=奇数”をみつける。具体的な数で確認し、さらにタイルを並べて違いを確かめる。

（参加者4名）

今度は 6月27日（金）18：30～20：30

八王子クリエイイトホール（10階）第4学習室

（内容）おもちゃ箱（教具作り）と実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においでください。

※会場費 100円

※問い合わせ先：市橋公生 〒193-0803 八王子市檜原町 980-145

TEL・FAX：042-625-2286 Mail アドレス：kimio184@nifty.com

今回は、7月24日（木）18：30～20：30 八王子クリエイイトホール（10階） 第4学習室